



# 廿日市市教委だより

平成28年

9月8日

第3号

～ 子どもたちの笑顔を守るのはわたしたち ～

2学期が始まりました。先生方は久しぶりに会った子どもたちからきっと大きなエネルギーをもらっていることでしょう。

2学期は1年間の中で一番長い学期です。腰を据えて、子どもたちに力がつく取組をみんなでしっかりと行っていきましょう。



今回の市教委だよりでは、夏に行われた教職員の研修や児童生徒の活動を中心にお伝えします。

## 「発達障害は医学の問題ではなく、教育の問題である」



8月17日（水）、市内の先生方をはじめ、市役所の職員等約200人が参加のもと、教職員夏季研修を開催しました。

田村有樹子教諭（廿日市小）、長谷川進教諭（四季が丘中）の学級づくりの実践報告を聞いた後、大阪医科大学LDセンター顧問竹田 契一先生の講演を聞きました。

実践報告は、決めたことを徹底して指導しきる粘り強さや、一人一人の子どもをよく見て、伸びたときにすかさず褒める優しさときめ細やかさにあふれていました。

講演では、「特別支援教育は教師の意識改革である。」という言葉から始まり、子どもの特性を理解せずに一律な指導をすると、子どもを追い詰めてしまうことや、できない子どもの立場に立って、「なぜできないのか。」と考えることが大切である、という教師の心構えのような話など、たくさんの示唆に富む内容を伺うことができました。

アンケートには、「もっと聞きたかった。」「来年も竹田先生の話が聞きたい。」という声が多数あり、事務局としても大変嬉しく思っています。アンケートに書いていただいた質問への回答をすでに各校に送付していますので、確認してください。

市教委主催の研修で講師の話を「また聞きたい。」という声をこれだけいただいたことは初めてです。我々もニーズに応じた講師の選定ができたことと喜んでます。そこで、来年度の夏季研修の講師については、先生方からのご意見も踏まえて選定したいと思います。「この人の話を聞きたい。」というご希望がありましたら、教育指導課へメール等でお知らせください。  
<[kyoikushido@city.hatsukaichi.lg.jp](mailto:kyoikushido@city.hatsukaichi.lg.jp)>

## つくってみんな 食べてみんな 栄養満点ひろしま給食

「ひろしま給食 100万食プロジェクト」が4年目を迎えました。

広島ならではの給食メニューを開発し、10月16日から22日までの「ひろしま食育ウィーク」に全給食実施校で広島県共通メニューが提供されます。

そして、家庭でも「ひろしま給食」を楽しむことで、学校・家庭・地域が一体となった食育を推進することをねらいとしています。（廿日市市の目標は、5万食）

8月には、栄養教諭と学校栄養職員が調理実習をしたり、生産者の方への取材をしたりしました。地元の食材をおいしくいただくことは、地域の発展に寄与するとともに、地域に愛着をもつことにもつながります。

プロジェクトへのご理解・ご協力をお願いします。



☆タコタコライス  
（広島県共通メニュー）

まだこ、豚肉ミンチ、小松菜、トマトを使用しています。

☆お宝<sup>はっ</sup>廿けんチャウダー  
（廿日市市共通メニュー）

廿日市のあさり、小松菜、にんじん、生しいたけ、白ねぎを使用しています。



今年は洋風の「お宝廿けんチャウダー」です。



浜毛保漁業協同組合



農業組合法人さいき

## 加速の一年に！「学びの変革」アクション・プラン



平成30年度には、全教員が  
○「なぜ、自分の授業を変える必要があるのか」を語り、  
○「自分の授業において児童生徒が主体的に学ぶ姿」をイメージし、  
○そのために、「自分の授業のどこをどのように変えたらいいのか」を明確にし、授業改善に取り組んでいることをめざします。

を工夫すること」「子どもが伸びを感じるような振り返りをする」となどのポイントが明らかになりました。

8月2日（火）、第2回「学びの変革」推進協議会（兼第2回教務主任研修会）を大竹市と合同で行いました。広島県教育委員会義務教育指導課谷本直子教育指導監の講話・演習の後、「課題発見・解決学習の単元づくり」の演習・協議を行いました。

講話の中では、今年3月に実施された公立高等学校の入試問題を解くことを通して考えていき、参加者からは、「入試が変わったことを実感した。」「他者と協働して新しいものを創造する力が必要だ。」「子どもの考えを引き出す授業づくりをしたい。」などの感想がありました。

また、校内で共通認識をもつ必要性を感じた先生方も多く、今後の取組の方向性を持つことができたのではないかと思います。

後半は、平良小学校松本淳美指導教諭の授業（DVD）から、「課題発見・解決学習の単元づくり」について考えました。協議を通して、「自分でやってみようという問いを作ること」「単元全体の学習過程



授業実践を見て、グループで協議することは効果的でした。

## つながる10校



8月29日（月）、「第2回廿日市市生徒会サミット」を開催しました。

「いじめのない学校にするために心と心をつなぐ生徒会活動を考える」をテーマに、市内10校の中学生30名が、自分の意見を堂々と述べました。

お互いの考えを尊重し、みんなで考えていく素晴らしい会でした。

## 生徒会サミット成功の裏で…

そんな生徒たちの活躍を支えたのは担当の先生方です。

昨年よりも、さらに生徒が意欲的にこのサミットに参加していたのは、学校での先生方の事前指導がしっかりとなされていたからだと思います。



当日も、生徒を心配そうに見守っていたり、協議が停滞したら、うまく助け舟を出してフォローしたりするなど、陰になり日向になり、生徒を支えておられました。

サミット自体の記録は、後日お届けしますが、まずサミット成功を支えてくださった各校の先生方に感謝の意を伝えたいと思います。

**ありがとうございました！**

### 【お世話になった先生方】

平原綾乃先生（廿日市）

中村賢太郎先生（四季が丘）

中山玲子先生（大野東）

三浦圭太郎先生（七尾）

秋本摂子先生（佐伯）

荒山恵子先生（宮島）

舛田康司先生（阿品台）

大上恵子先生（吉和）

大島美咲子先生（野坂）

金本旭史先生（大野）



## 進む国際交流 グローバルキャンプを開催しました

8月9日（火）、「大竹市・廿日市市中学生グローバルキャンプ」を開催しました。

このキャンプは、中学生と県内の高校等に通う留学生が交流することを通して、英語によるコミュニケーション能力の育成と、異文化の相互理解を図ることを目的として今年初めて実施されたものです。

今回は、廿日市市からは14名の中学生が参加し、9名の留学生との交流を行いました。

このキャンプ中は、原則「オールイングリッシュ」で過ごしました。開会のあいさつから始まり、指示や注意事項まで、全てが英語です。中学生は初めてまどう場面もありましたが、頑張って英語でコミュニケーションを図っていました。

生徒たちにとって貴重な経験となったようです。

I can't speak English very well. But I tried to talk with foreign students.

I want to join again.

I enjoyed Global Camp very much!



## 生徒指導 スキルアップ! ③

### 積極的生徒指導、していますか？



生徒指導は、問題行動が起こった時に指導する「消極的生徒指導」が取組の中心のようにイメージされがちですが、全ての教育活動の中で全ての子ども達に対して行う「積極的生徒指導」も、とても重要です。

特に、2学期は1年間で一番長く、大きな行事もたくさんあり、積極的な生徒指導を意識して取り組むよい機会です。

場面	内容
授業	<ul style="list-style-type: none"> <li>チャイムと同時に着席することを指導</li> <li>友達の発表をしっかりと聞くことを指導</li> <li>みんなが分かる、楽しい授業を目指して発問を工夫</li> </ul>
学校行事	<ul style="list-style-type: none"> <li>友だちと協力し、友だちの頑張りに目を向けさせる指導</li> <li>行事の目的達成に向けて、みんなが活躍できる場を設定</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>友だちの良いところに気づくことを指導</li> <li>元気の無い子どもへの声かけ</li> </ul>

このような指導は目新しいことではありませんが、意図的・計画的に行うことが大切です。

また、「積極的な生徒指導」を違う言い方で表現すると、

**「すべての子どもに『出番』があり『活躍』できるような指導をすること」** スキルアップ ポイント!  
とも言うことができます。



大野東小学校  
平成28年度広島県学校給食表彰!



8月16日に開催された「平成28年度広島県学校給食研究大会」において、大野東小学校が「学校給食優良学校」として表彰されました。

大野東小学校では、地元の農産物を使った魅力あるメニューを提供したり、授業で児童が玉ねぎの皮むき体験等を通して学校給食に関心をもつ工夫をしたりしています。

また、栄養教諭と調理員のチームワークのよさも、学校給食の普及と充実を図る上で大切なスパイスの一つとなっているようです。

竹田契一先生の情報はこちらから

[http://www.schoolweb.ne.jp/weblog\\_ex.php?id=2770001](http://www.schoolweb.ne.jp/weblog_ex.php?id=2770001)



「竹田契一 寸劇」で検索すると、具体的な指導や支援などのヒントが見つかります。